



5/31(金) 沖縄ろう学校体験授業

地域の小中学校に通っている聴覚障害のある児童生徒を招いた体験授業が行われました。今回は、20名の参加があり、本校の児童生徒と手話等を使った合同授業を通して、交流を深めました。体験授業の目的の一つは、子どもたちの授業中の笑顔が、物語っているとおり、同じ障害のある同年代の児童生徒との交流の機会であり、お互いに大切な気づきや学びがあったと考えています。

また、保護者や担任の先生方の参加も多くあり学習方法や進路に係ることなど様々な情報交換ができたと思います。

本年度は、3回の実施を計画しています。

子どもたちをはじめ、関係者の皆様により有意義な体験授業にしていきたいと思っております。



平和学習 慰霊の日 校外学習

6月23日の慰霊の日に関連して、各学部において、平和学習が行われています。

図書室の周りには、沖縄戦に関する資料が展示(図書委員による選定)され、学習環境が整えられています。

また、中学部は、佐喜真美術館への校外学習を行い、「沖縄戦の図」など絵画作品を通して沖縄戦、そして、平和について学びを深めていました。



デフバレー2024観戦 幼小:校外学習

6/21~6/30までの間、豊見城市民体育館で聴覚障害者のバレーボール世界大会である「デフバレーボール世界大会2024」が開催されました。

本校とデフバレーボールとのつながりは深く、沖縄ろう学校が、全国大会への出場を果たしたり、OBチームが全国ろうあ者バレーボール大会で7連続優勝を果たすなど、その雄姿は歴史に刻まれています。

6/21の予選(男子)日本 VS イラク戦に幼小学部で、応援に行きましたが、不戦勝ということで、試合を見ることはできませんでした。

ただ、短い時間でしたが、代表選手の皆さんと交流の時間を作っていただきました。ありがとうございました。目指せ、優勝!!



高等部 就業体験 6/17~

高等部の前期就業体験が、6月17日から28日までの日程で行われています。今回は、体験先として、測商・中部徳洲会病院・ミラソルアイセックジャパン・コープ沖縄、となっており、高等部4名が参加し、その体験から様々な学びを得ています。

以前、中高合同学習会で「トヨタ紡織」の方から、助言をいただいた「学生の時に身につけておいた方が良い力」とは?について、再度、掲載します。

- ①いろいろな世代とコミュニケーションをとるスキル...社会での仕事や活動は、同じ世代とだけするものではない。チームの一員としての自覚を持ち、協力していく必要がある。
- ②ノルマを守る...ライン製造においては、決められた時間内に作業をこなす必要がある。この作業は、2分以内、次は、3分以内と段取りを踏んで考える事が大事。目標時間内におさめるために工夫して能率を高めることも大切。
- ③体調管理を習慣化...学生のうちに自分の特性、健康状態を把握する。自分に合った睡眠時間、生活状態を把握し心がける。私は、咳が出やすいので「無理な運動はしない。症状が出たら早めに薬を飲んで休む」を心がけている。
- ④ストレス解消法...誰かと話をする。趣味を楽しむ。睡眠をしっかりとる。受け止め方を変える。

*中学部もキャリアガイダンス(ビジネスマナー)を実施しました。



就業体験先で、タイムカードを初体験

中学部・高等部100周年に係る合同授業

創立100周年の舞台発表に向け、生徒達がグループに分かれて沖縄ろう学校の歴史について、調べ学習やインタビューを通して、学んだことをまとめ発表しました。それぞれでスライドを作成し、プレゼンテーションを行えたことは、貴重な体験となりました。

学習内容は、膨大な量があるので内容を減らしていますが、発表できなかった内容は、掲示物として発表予定です。



沖ろうマスコットキャラクター

卒業生もずっと見続けてきた本校の校章。よく見たら顔に見えることは、皆さん感じていたと思います。本年度の機会にせっかくなので、足をつけて、本校のマスコットキャラクターとして様々な場面で、活用し、もっと身近で愛される存在にしたいと考えています。名前も現在、児童生徒会より募集中です。次回、発表いたします。



よろしくね

